

すべてのひとが輝くために可能性を実現できる滋賀へ

滋賀県議会議員

あきなり

かわい昭成

News Report

発行：かわい昭成後援会 第12号
2019年6月27日発行

E-mail : otayori@a-kawai.net

URL : http://www.a-kawai.net/

後援会資料

未来への責任



Profile

生年月日 1973年7月22日
住所 大津市国分1丁目
家族構成 妻、長男、長女
趣味 読書 パレーボール
子どもと風呂に入る

好きな言葉 千里の道も一歩から
好きな食べ物 カレーライス

学歴
1992年 神奈川県立横浜翠嵐高等学校 卒業
1997年 早稲田大学 理工学部機械工学科 卒業
1999年 早稲田大学大学院 理工学研究科 修了

経歴
1999年～2018年 東レ株式会社 社員
2008年～2010年 東レ労働組合 滋賀支部役員
2011年～2018年 大津市議会議員
2011年～2014年 国分一丁目一区自治会 会長
2016年～2017年 大津市監査委員
2019年～ 滋賀県議会議員

会派 チームしが 県議団
常任委員会 厚生・産業常任委員会
特別委員会 地方創生・しがブランド推進対策特別委員会



facebook



Website

かわい あきなり
河井 昭成

目指す未来はここから

「令和」という新しい時代の幕開けとともに滋賀県議会議員としての活動がスタートしました。新しい環境でやや戸惑いながらも、おかげさまで元気に活動をさせていただいております。日頃のご支援に感謝申し上げます。皆さまのご期待に応えられるよう初心を忘れることなく取り組んで参りますので、引き続きのご指導ご鞭撻をお願いいたします。

さて、少子化、人口減少、自然災害・乗り越えなければならない様々な課題がありますが、皆さまの声をいただきながら、知恵と力を出し合い、時代に合った「新しい答え」を見つけていきたいと思っております。必ず夜は明け朝が来ます。目指す未来はここから、共にごがんばりましょう！

県議会で初めての登壇

令和元年 6月定例会議

県議会で初めての登壇となります。「エネルギーとしての水素」「低炭素社会に向けた取り組みについて」の2項目について質問を行いました。

低炭素社会に向けた取り組みについては、滋賀県も自らが大量のエネルギーを消費する事業者として地球環境に影響を及ぼしていることに鑑み、県の事務事業全体におけるエネルギー使用量や二酸化炭素の排出量の現状を示したうえで、削減目標を掲げ、環境負荷の低減の推進を率先して取り組むと意思表示をしています。これらを踏まえて、県の事業推進における温室効果ガスの削減の取り組み姿勢について見解を問いました。

今回は、この夏に向けて集中的に整備された高校の空調設備を一例として取り上げました。高等学校の空調設備の整備に関して、適切な教育環境になるように、適切に使用されることが大前提です。一方で、電気やガスで動作する設備ですのでエネルギーや排出される二酸化炭素の量に少なからず影響があります。低炭素社会に向けた取り組みを進めるとしている滋賀県として、エネルギーの使用量や二酸化炭素の排出量を把握（数字を明示）し「見える化」すること、そのうえで必

要な対応が行われることが求められる、と問いました。

県の答弁は、県立高等学校の空調施設整備において、計画や設計の段階では、エネルギー使用量や二酸化炭素の排出量の増減について算出されておらず、今回、県が想定する運転条件のもと計算したところ、県施設全体からの二酸化炭素排出量の約2%であることがわかりました。私が求めたエネルギー使用量や二酸化炭素の排出量について数字を示すことについては明言されませんでした。施設設備の計画段階から省エネ対策を講じられるよう、効率的で効果的な手法を検討して参りたいとの答弁でした。持続可能な社会に向けて、省エネや低炭素社会への取り組みは重要です。今後の検討に期待したいと思います。



かわい昭成後援会

〒520-0802 滋賀県大津市馬場3丁目13-28
TEL:077-523-2701 FAX:077-522-4477

すべてのひとが輝くために 可能性を実現できる滋賀へ かわい昭成は取り組みます

公共交通の維持・機能向上に取り組みます

バスの路線や便数が減っている状況にあります。高齢者の免許の返納などもあって移動手段の確保は課題です。高齢者の外出を支援することは、長く元気に暮らすことにつながります。交通政策としてだけ考えるのではなく、福祉政策にもつながるという視点をもって取り組みます。



医療ケア児などサポートが必要な子・人への支援の充実に取り組みます

制度のはざまにいる人がいます。必要なサポートを整備することで、障がいのある、ないにかかわらず、すべての人が自分らしく生活できる滋賀をめざします。



子どもの運動能力の向上に取り組みます

特に就学前の子どもに体を動かすことの楽しさを感じてもらえるように取り組みます。その後の生涯にわたる運動・スポーツへつなげることで、健康しがの実現に寄与します。同時に、学ぶ力や集中力などにも良い効果があると考えます。



働「き」方改革に取り組みます

働き方改革は現場から。働「かせ」方改革にならないようにすることが大切です。働く人の視点が生かされるように取り組みます。働く時間を適切にすることで、子育てや地域活動などの充実にもつながります。



地元の事業者・企業の活動のサポート充実を目指します

事業継承、災害時の事業継続計画の策定などを含めて、地元事業者・企業の活動を支援し、地域経済を維持・発展させることが重要です。また、ライドシェアやシェアリングエコノミーなど新しいものが社会に登場し、経済や雇用に大きな変化が起こりつつあります。その中でも滋賀、大津の地域で経済がまわるように誘導する政策や消費者への情報発信に取り組みます。



お父さんの笑顔を増やします (男性の子育て環境の充実に取り組みます)

男性の育休取得の推進、子どもとの外出支援（例えば出かけ先でのトイレの整備）などに取り組みます。男性（お父さん）が家事・育児に取り組むと、お母さん、子どもが幸せになるだけでなく、女性の社会進出を後押しする、少子化の改善につながるなど社会にとってもいいことがたくさんあります。女性の子育て環境を整えるのはもちろんです！



いつまでも住み慣れた場所で生活できるように取り組みます

長く健康に過ごせるように、若いうちからの体力づくり、口腔ケアなど予防的な取り組みに力を入れます。高齢者の健康増進や生きがいづくりのための施策充実、医療と介護の機能と連携の強化を図ることで、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる滋賀をめざします。



琵琶湖をはじめとする自然環境の維持に努めます

世界に誇る琵琶湖ですが、外来植物の繁茂など課題もあります。次の世代に良好な琵琶湖を引き継ぐための環境保全に取り組みます。併せて、良好な水環境を支えるのは山です。山林の保全に向けた仕組みの構築に取り組みます。



エネルギーの使い方に着目します

自然エネルギーの積極的な利用のため、地域分散型エネルギーの導入にむけた送電システムの再構築が必要であると考えます。また、住宅の高断熱化の促進などを進めてエネルギーを「ロスを少なく賢く使う社会」に向けて取り組みます。



議会の権能を今以上に発揮できるように取り組みます

議員提案による条例や計画の制定などに取り組んだ大津市議会議員としての経験を生かして、今以上に議会の権能を発揮できるように県議会のさらなる活性化に取り組みます。



かわいの目指す 3つの視点

今回の質問「エネルギーとしての水素」「低炭素社会に向けた取り組みについて」はここ！



子どもが健やかに育つ・育てられる環境の整備



こころ・からだ・あたま生きる力と基礎学力を身につける教育の推進



健康をいつまでも生涯スポーツの推進と医療・介護など福祉施策の充実



働くことを軸とした社会を安定した雇用環境の確保と各種産業の活性化



すべての人に居場所と出番多様性を尊重した協働社会の構築



地域のことは地域で決める情報公開と住民主体の地域自治の推進



守り伝える滋賀の豊かな自然と文化・歴史遺産の保全と産業や観光への活用



つくるからつかうまでを考えた新しいエネルギー社会の構築



安全・機能的・コンパクト将来を見据えたまちづくりの推進